

新しく、優れた、強さを。

ミラビスフロアブル

小麦の
黄斑病・
うどんこ病
適用拡大

いんげんまめ
灰色かび病・
菌核病
適用拡大

無人航空機による少水量散布にも対応

新規系統の殺菌力で、
赤かび病防除を次のステージへ。



 **ミラビス®**
フロアブル

syngenta®

殺菌剤

シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際には、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標

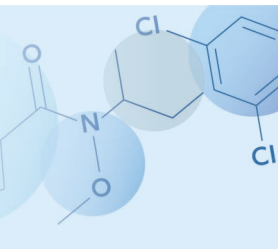
®



ミラビスフロアブルは、新規成分アデピディンを含むSDHI系統の殺菌剤です。アデピディンはフザリウム属菌・M.ニバーレ菌由来の赤かび病に対して優れた効果を示します。またアデピディンは雨に強く、さまざまな気象条件下において安定した効果を発揮し、小麦の高品質で美しい仕上がりに貢献します。

アデピディン®とは

アデピディンは、SDHI(殺菌剤分類:7)に属し、新しい化学グループ N-メトキシ(フェニルエチル)ピラゾールカルボキサミド類に分類されます。そのユニークな分子構造と関連する特性により、次世代の殺菌剤と考えられています。



※アデピディンはミラビスフロアブルの有効成分ピジフルメトフェンの登録商標です。

もっとシンプルに、もっとパワフルに。小麦の赤かび病防除は、次のステージへ。

新規系統SDHI

- × 小麦の赤かび病防除の新戦力
- × ローテーション防除による耐性菌対策に一役
- × 独自の分子構造で優れた効果を発揮

新

優

赤かび病の原因菌に独自の優れた殺菌力

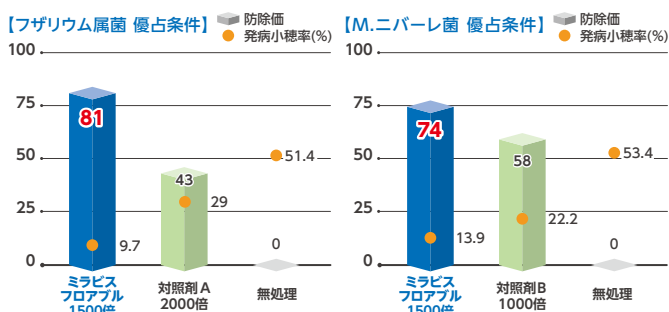
- × 発生初期の病害の進行を阻止
- × フザリウム属菌、M.ニバーレ菌に極めて高い効果
- × DON(かび毒)の低減効果

強

雨に強く、効果が安定

- × ワックス層への素早い吸着
- × 耐雨性に優れ、雨が多い時期も安心
- × 様々な条件下でも効果が安定

赤かび病に対する防除効果



【フザリウム属菌 優占条件】
2016年 北海道植物防疫協会
品種:ハルユタカ 播種:4月25日 発芽期:5月3日
接種:6月10日(F.graminearum)
発生状況:基発生(接種)
処理日:7月1日(開花始)、7日、14日
調査日:7月30日
調査方法:各区100穂について発病小穂率を調査した。
※本データの登録回数と登録の使用回数は異なりますので、留意してください。

【M.ニバーレ菌 優占条件】
2016年 北海道立十勝農業試験場
品種:きたほなみ 播種:2015年9月17日
接種:5月25日(M.nivale)
発生状況:基発生(接種)
処理日:6月10日(開花始翌日)、18日
調査日:7月6日
調査方法:各区100穂程度採集し、発病小穂率を調査した。



■ 適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピジフルメトフェンを含む農薬の総使用回数
いんげんまめ	灰色かび病、菌核病	2000倍	100~200L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
小麦	黄斑病	2000倍	50~150L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
	うどんこ病	1500倍					
	赤さび病、葉枯症	1500~2000倍					
	赤かび病	250~500倍	25L/10a				
大麦	赤かび病、網斑病	8~16倍	0.8L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
		1500~2000倍	60~150L/10a			散布	
	赤かび病	8~16倍	0.8L/10a			無人航空機による散布	

最新情報



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

シンジェンタ ジャパン株式会社
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階
www.syngenta.co.jp

